

校長あいさつ

「あいさつが響き合う 笑顔あふれる学校」を目指して

～人との関わりを大切に～

清水 潤

保護者や地域、関係機関の皆様には、日ごろより本校の教育活動にご理解とご協力をいただき、感謝申し上げます。今年度は、児童生徒95名、教職員83名でスタートしました。本校は昭和54年4月に南養護学校として創立し、今年度で46年目を迎えます。県南地区特別支援学校の中心校として、今後も誇りと自覚をもって取り組んでいきたいと考えています。

本校では、目指す学校像を3つ掲げており、1つ目が「あいさつが響き合う 笑顔あふれる学校」です。児童生徒と教職員はもちろんのこと、保護者や地域、関係機関の皆様と共に、この学校像を目指していきたいと考えています。

小・中学部棟の玄関では、児童生徒が毎朝あいさつ運動を行っています。進んであいさつし合う姿から、あいさつは人との関わりのスタートであり、どの場面でも毎日行うことが大切であると、改めて気付かされます。

また、日ごろの学習や生活では、笑顔がたくさん見られています。誰かと関わったり、一緒に取り組んだりしている時の笑顔から、ここでも、人との関わりの大切さに気付かされています。

これからも、人との関わりを大切に、「あいさつが響き合う 笑顔あふれる学校」を目指して取り組んでまいりますので、どうぞよろしく願います。